

3号機構内用輸送容器構造強度評価の誤記について

- 変更申請中の面談資料作成時に、以下に示す変更申請書及び現行の実施計画（認可済み）に誤記があることを確認。
 - ・破損燃料用輸送容器（2体）の構造強度評価の荷重条件（2019年8月20日申請）
 - ・3号機構内用輸送容器の構造強度評価の荷重条件（2015年12月8日認可）

- 荷重条件と評価結果を整理したところ、解析そのものや評価結果に誤りはなく、荷重条件の記載の誤りであることがわかった。（具体的な内容は次スライド参照）

- 今後、補正にて記載の適正化を図る。

3号機構内用輸送容器構造強度評価の誤記について



➤ 申請中の破損燃料用輸送容器（2体）を例に変更案を以下に示す。現行の実施計画も同様に変更する。

申請中				変更案			
添付資料-2-2-2				添付資料-2-2-2			
破損燃料用輸送容器（2体）に係る安全機能及び構造強度に関する説明書（3号機） (中略)				破損燃料用輸送容器（2体）に係る安全機能及び構造強度に関する説明書（3号機） (中略)			
1.3. 構造強度評価 (中略)				1.3. 構造強度評価 (中略)			
表1-3-3 荷重条件（容器本体及び蓋）				表1-3-3 荷重条件（容器本体及び蓋）			
設計事象	代表事象	包絡される事象	荷重条件	設計事象	代表事象	包絡される事象	荷重条件
設計条件	設計時	-	最高使用圧力：2.0MPa (二次蓋は1.4MPa)	設計条件	設計時	-	最高使用圧力：2.0MPa (二次蓋は1.4MPa)
I	構内輸送時	-	最高使用圧力：2.0MPa (二次蓋は1.4MPa)	I	構内輸送時	-	内圧：0.6MPa (二次蓋は0.45MPa)
	吊上げ時	-	最高使用圧力：2.0MPa (二次蓋は1.4MPa)		吊上げ時	-	内圧：0.6MPa (二次蓋は0.45MPa)
II	搬送架台への衝突 (取扱いモードNo.7)	-	最高使用圧力：2.0MPa (二次蓋は1.4MPa)	II	搬送架台への衝突 (取扱いモードNo.7)	-	内圧：0.6MPa (二次蓋は0.45MPa)
	転倒防止台座への衝突 (取扱いモードNo.9)	輸送架台への衝突	最高使用圧力：2.0MPa (二次蓋は1.4MPa)		転倒防止台座への衝突 (取扱いモードNo.9)	輸送架台への衝突	最高使用圧力：2.0MPa (二次蓋は0.45MPa)
	キャスクピットへの衝突 (取扱いモードNo.10)	(取扱いモードNo.3)			キャスクピットへの衝突 (取扱いモードNo.10)	(取扱いモードNo.3)	
試験状態	試験時	-	試験時圧力：3.0MPa (二次蓋は2.1MPa)	試験状態	試験時	-	試験時圧力：3.0MPa (二次蓋は2.1MPa)

注記：赤字が該当箇所

- ・ 最高使用圧力2.0MPa（二次蓋は1.4MPa）：収納した健全燃料7体の被覆管すべての密封性が失われた場合に放出されるHeガスやFPガスによる圧力上昇を考慮した容器内圧力
- ・ 内圧0.6MPa（二次蓋は0.45MPa）：容器内水の熱膨張による圧力上昇を考慮した容器内圧力